

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講習内容についての問い合わせ先…kyoumu@sta.tenri-u.ac.jp(天理大学)

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態
古文を面白くさせる「読み」		中高国語教諭	6H	講義
日程	定員	川島 二郎(天理大学・教授) 仁尾 雅信(天理大学・教授) 佐藤 愛弓(天理大学・准教授) 吉田 茂晃(天理大学・教授)		
平成29年8月23日(水)	40人			
会場				
天理大学杣之内キャンパス				
【講習の概要】				
「伝統的な言語文化」の尊重が新学習指導要領の大きな柱となっている。古典文学作品を原文で読み味わわせることにより、古典文学は面白いと生徒たちに実感させるような「読み」を展開し、その「読み」を支える文法力の育成について論じたい。				
【小テーマ①】 上代文学作品の「読み」			1. 5H (担当講師:川島 二郎)	
講義形態	講義形式			
講義内容	後世歌聖と称される柿本人麻呂の作品を読解・解説する。人麻呂作品においては、人麻呂によって創作された枕詞が駆使され、序詞についても二重の序詞を用いるなど、人麻呂独自の表現が見られる。そういった修辞に注目して、作者の真意を探りたい。			
到達目標・確認指標	一般的な序詞、枕詞等の修辞の理解の上に、人麻呂特有の修辞を理解すること			
キーワード	柿本人麻呂、序詞、枕詞			
【小テーマ②】 平安朝文学作品の「読み」			1. 5H (担当講師:仁尾 雅信)	
講義形態	講義形式			
講義内容	暗記させたり、音読したりするのに最も相応しい作品の一つ『枕草子』「春はあけぼの」の段。清少納言の思考過程を作品の「読み」に従って探り、この章段の持つ独自性を追究したい。			
到達目標・確認指標	平安時代の作品を、時代背景も押さえた上で、一語一語に込めた作者の意図を理解しながら読めるようになること。			
キーワード	古典文学・枕草子・清少納言・作品分析・絵画化			
【小テーマ③】 中世文学作品の「読み」			1. 5H (担当講師:佐藤 愛弓)	
講義形態	講義形式			
講義内容	日本でもっとも知られている説話集『今昔物語集』の一話を挙げ、読解、解説する。貴族日記などから知られる事件の詳細と照らし合わせて考えることによって、隠された真実にせまりたい。			
到達目標・確認指標	説話集を読むための知識を確認し、学習者の理解をみちびくための工夫を知る。			
キーワード	説話集・貴族日記・作品理解			
【小テーマ④】 「読み」を支える文法			1. 5H (担当講師:吉田 茂晃)	
講義形態	講義形式			
講義内容	古典語には、推量・推定に関する助動詞が(打消推量や過去推量などを含めると)十種類以上も用いられている。それらの助動詞がそれぞれどのような特徴をもち、どのような観点で使い分けられているかについて検討する。			
到達目標・確認指標	助動詞の語義についての知識を古典文の読解に適用し、正確な文意の理解に到達できるようになること。			
キーワード	古典文法・助動詞・推量・推定・解釈			
試験方法	講習80分の最後に、各々10分程度の筆記試験を行う。			
成績評価の方法・基準等	各講習の筆記試験(各25点満点)をもとに成績評価する。総合して60点以上を合格とする。			